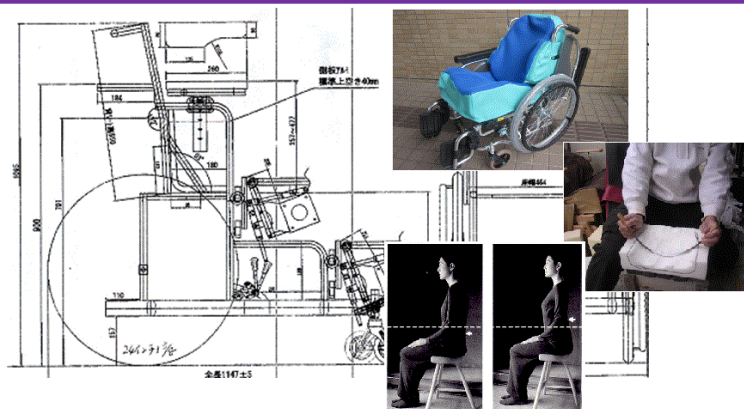


【ユニリハ】 作業と姿勢と人間工学

～臨床で使おう 基礎編 × 治療へ利用 応用編～

ポジショニング、シーティング、
フィッティングは人間工学から
生まれました。
まずは、
基本となる工学エビデンスを
学びませんか。



日時 2018年6月22日(金) 10:00～16:30

・会場 八王子市芸術文化会館いちようホール (東京都八王子市本町24番1号)

受講料 14,000円 (基礎編のみ7000円)

・申込URL <https://www.meducation.jp/seminar/regist?id=60852>

お問い合わせ 日本ユニバーサルリハビリテーション協会

TEL 042-208-0102

E-mail otmode@jcom.home.ne.jp

URL <http://universalreha.com/>

～車椅子を卒業する～

私たち誰もが工学がもたらしたインテリアを利用しています。

それならば、車椅子を卒業し「もう一度椅子に座る」「もう一度インテリアを使った生活をする」という健康者と同じ生活環境へ戻す役割の一端を医療は担っているのではないのでしょうか。

いつまでも車椅子に座る事を考えずに、原点である人間工学という基礎を振り返ることで、治療に応用し、再び馴染みのある道具やインテリアの利用を考える事が本セミナーの目標です。

人間工学の開発は、日本人成人男女の身長体重から、手や足の長さ、身体重心等の平均を徹底的に調査し、身体機能面のエビデンスを人間の精神や心理と行動特性に照らし合わせ、デザインされてきたものです。インテリアは人間工学から生まれました。患者様が使う車椅子を知る、椅子を知る、ベッドとは何かを知るために、まずはインテリアの基礎である人間工学を学びませんか。人間工学を我々医療従事者が知っておく事は重要な要素なのかもしれません。

そこで、作業と社会活動に伴う姿勢制御をどのように捉え、ユニバーサルデザインを確立してきたのか、更に私たちが日々の日常で何気なく使っているインテリアや作業椅子、作業台に隠された原理を解き明かすことで、作業療法や作業療法士の臨床に生かしていく技術や方法論と心理精神活動に影響する事実をご紹介します。

『作業と姿勢と人間工学』・・・何気なく使っている道具は、治療機器に見えてくるかもしれません。